

令和6年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	やまがた工芸の会		
事業名	山形の伝統工芸と技術を守り伝えるための文化振興事業		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	176,918円
		うち助成金額	95,000円
事業実施期間	令和6年8月20日～令和6年11月30日まで		

事業目的・実施内容	(事業目的) 先人たちから受け継いできた有形・無形の文化や文化財を守り、育み、活かし、伝えていく責務があります。また、工芸作家は、山形の風土と文化に生まれ、伝承されてきた技術と材料で、暮らしに必要で、かつ彩を添える“美しいもの”を創作してきました。 文化による心豊かな生活と活力ある地域社会の実現が求められる中で、本県で育まれた工芸作家の作品を鑑賞し、実際に手に取り使う機会を提供することで、郷土・山形の先人たちの美と知恵と技術の継承、次代への創造の展開を図り、文化振興を目的として実施しました。
	(実施内容) ①やまがた工芸の会会員展及び企画展の開催 工芸分野全般にわたる当会会員18名による26作品を展示し、1,000人を超える皆様が鑑賞しました。 県との併催により「いいもの山形作品展」を開催し、「いいもの山形」のパネルや登録作品の展示、当会は日常生活で用いる作品を中心に展示し、見て・触れていただく機会を提供しました。 ・10月14日(月)～20日(日) 文翔館ギャラリー 来場者数:1,076名 ②茶会・華展の開催 鑑賞にとどまらず触れる(使う)ことにより工芸品の魅力を再認識してもらうため、会員作品のお茶道具及び花器を使用し、裏千家・表千家、華道家元池坊山形支部・山形西高・山形学院高の協力を得て実施しました。 ・茶会:10月19日(土)～20日(日) 文翔館会議室 来場者数:200名 ・華展:10月14日(月)～20日(日) 文翔館ギャラリー 来場者数:①の内数 ③ 会員展及び企画展、茶会・華展にかかるアンケートの実施 ※設立10周年記念事業として、10月19日文翔館議場ホールにおいて華道池坊次期家元・池坊専好氏による会員作品の花器を用いた「お花の造形パフォーマンス」、人間国宝・松原伸生氏との対談を実施しました。



事業の成果	山形の文化財、伝統工芸や工芸文化が多くの県民に認識され、理解され、愛され、伝えていくために必要な底辺の拡大と文化意識の高揚が図られたものと考えます。 目標の2倍を超える来場者があったことは大きな成果でした。 【来場者等】 目標：600人 ⇒ 実績：1,276人 達成率 213% 内訳) 会員展・企画展、華展：500人 ⇒ 1,076人 茶会：100人 ⇒ 200人
今後の展望	当会は、令和6年度に設立10周年を迎えました。これまで、協賛企業等や各種助成金による御支援をいただきながら、会員展の開催をメイン行事として、次代を担う高校生とのコラボによるお茶会や華展、人間国宝や著名人を招いての講演会の開催など様々な方法で伝統工芸や工芸文化に関する情報発信を続けてきました。また、令和4年には全国・世界へ向けてホームページを開設するとともに、日常生活に身近な工芸品の展示などにより親しみを感じていただくような企画も行っています。今後とも一層効果的な方法を工夫しながら取組みを進め、工芸に対する県民の理解を深め、山形の工芸文化の普及、文化振興の一翼を担っていきたいと考えています。皆様の御支援をお願いします。



団体概要

団体名 やまがた工芸の会

代表者 和久井 修

URL <https://www.yamagata-kogei.com/>

設 立 2014年

正会員 27名 賛助会員 103名

※山形県内の工芸作家と、その活動を応援する皆様の会です。ご支援をお願いします。

令和 6 年度山形県 N P O 活動促進補助事業
収支精算書

事業の名称	山形の伝統工芸と技術を守り伝えるための文化振興事業
団体名	やまがた工芸の会

1 収入の部 (単位：円)

区分	精算額	内容
県補助金	95,000	令和 6 年度山形県NPO活動促進補助金
当該事業による収入		
その他収入		
自己資金	81,918	
合計	176,918	

2 支出の部 (単位:円)

区分	精算額	内容
謝金	20,000	お茶会指導謝礼
旅費		
印刷製本費	47,680	キャプション等カラープリント代 ポスター・チラシ印刷代
消耗品・材料購入費	101,695	お茶会・華展材料費等
通信運搬費	7,543	送料等
保険料		
使用料		
人件費		
(委託費)		
(備品購入費)		
(修繕費)		
合計	176,918	